

# 議事録 20200726 第 15 回まちづくり町民会議

## 1) 会長あいさつ

**会長：**今年の2月に開催された町民会議以降、新型コロナの影響で会議が4回流れてしまった。今年はあと数回だが、休むことなく参加いただければと思う。

新しいメンバーもいるので改めて会議の意義についてお話させていただくと、このまちづくり町民会議は町の施策に町民が関わることのできる大事な会議。これまで町が行ってきた施策に町民の声がきちんと反映されているのかを判断し、また、こういう点が町民目線では必要ではないかと提案する「施策提案型」。町が行っている主要な事業に関して、町長から諮問をいただいてその議題について話し合いを行う「諮問型」がある。

先日、新庁舎建設のプロポーザル審査があり、設計者が決定した。それにあたっては、新庁舎建設の元になる技術提案書を作るために必要な「基本計画」を、昨年みなさまの意見を吸い上げて作成しており、その内容がしっかりと反映された技術提案書になっているかが設計者を決定する上で重要な審査ポイントとなった。そういった形で、みなさんの声がきちんと町政に反映できるように、この会議ではさまざまな意見を吸い上げていきたいと思っている。

「住民自治」という言葉があるように、地域の住民がそれぞれの町をどのようにつくってい

くか、そしてそれに積極的に関わっていくことが、人口減少が進む状況において非常に大切なこと。今年は限られた回数の中で非常に重要なテーマを話し合っていくので、遠慮することなく一人ひとりの意見を聞かせて欲しい。

## 2) 新委員紹介

**事務局：** 転勤等に伴い6名の委員が交代となった。

社会福祉協議会…元栄さん

鹿児島県…現在調整中

区長会…東区長

金融機関代表…信用組合の島名さま

農協…現在調整中

地域おこし協力隊…橋井さん

任期は前委員の残期間となっている。本年の12月26日まで。

## 3) まちづくり町民会議の目的

**事務局：** 資料1・2に沿って説明

## 4) 本年度の目標

**事務局：** 資料3に沿って説明

～補足説明～

【昨年協議事項：従来型】

1 介護職・保育職に特化した移住誘導事業（人材バンク制度の創設・移住支援）

現在非常に人材不足。募集しても集まらない。委員からは改善策として協議会の設置、住居の確保の提案があった。

2 シルバー人材センターについて

会員の作業受託地域の偏りがある。働き手不足。働きたい内容と提供する仕事のミスマッチが起きているのではないかと。改善策として、運営委員会の見直し、制度設計の見直し、分かりやすい情報提供も行うべき。→効果として、受託作業の増加。

3 学びのポータル化（未来型と重複）

「島に帰って来て学ぶ機会がなくなった」を減らし、「島に住んでいるからこそ学べることがある」を増やすための、地域密着型の学び場づくり。昨年度、「シブヤ大学」の実施 → 地域活性化が期待できる。

4 学びを支える学力向上推進

現在は資格試験を受験するための条件や助成の有無があるが、誰でもチャレンジできる環境整備をすべき。→学習意欲の向上、学習環境の改善につながる。

5 住宅改修費・介護予防改修費

改修経費を助成する事業はあるが、償還払いであるため生活困窮者には負担になっている。

医療機関のように自己負担分だけ払えばいいシステムにしては。→生活しやすい環境の整備につながる。

#### 6 沖永良部の綺麗な海を守ろう

海にごみがとても多く、きれいな海が台無し。海を「守る」へ、意識改革が必要。ごみ拾いの習慣化。→島のすばらしさの再発見につながる。

#### 7 百合球根振興協議会補助金

球根等には補助金があるが、販売を行う花屋への助成がない。花農家への助成を実施。→経費負担が抑えられ、生産意欲向上や新規就農が期待される。

#### 8 ごみの資源化等\*一度協議済み

ごみの焼却に対し費用がかかっているという意識が薄い。ごみの分別化、資源化を図る必要がある。→ごみの減量、環境問題の改善になる。

#### 9 空き家等対策事業（未来型と重複）

店舗を開業したいが情報がない、空き家の所有者が分からない。空き家等の情報を掲示し、空き家改修費の助成を行う。→居住の促進が図られる。

#### 10 農業研修制度の導入

新規就農者への研修制度を充実させ、担い手育成と経営拡大を図るために、宿泊施設の整備、通年従事計画の策定、各振興課との連携。→農業後継者の確保につながるのでは。

#### 11 子育て支援

和泊町と比較し、医療助成が少ない。雨の日でも楽しめるイベントが少ない。申請の手続きが煩わしい。→制度の見直し。リーダーの育成することで安心感や充実感が図られる。

#### 1 2 児童虐待防止対策

表面化されづらい虐待が存在する。子育ての知識や学ぶ機会の充実化。→保護者への研修を通じて、子育てに対する自信をつける。

#### 1 3 高齢者見守りサポート等

包括支援センターの事業で、島外に住む子どもがサポートカメラを使って親の安否確認を行っているが、カメラの設置費用などが負担となっている。また、事業の周知も不十分。→他のシステムを導入して費用を抑える。さらに周知方法も工夫することで利用が増えるのでは。

#### 1 4 時間外受付ポストの設置

役場関係のアンケートが多く、通信費用がもったいない。→ポストを設置することで経費削減になる。

#### 1 5 高反収作物の導入

小規模農地で収穫できる作物を作っていくのはどうか。そのために研修会実施や農業委員会の機能を充実させてはどうか。→収入増、農家数の増につながる。

#### 1 6 新規就農者支援、高齢者介護の為早期退職

両親が離農してから子世代が戻って来るまでに、農業機械が劣化して使えなくなることが

ある。高齢者介護のために早期退職した場合には、研修会や各作物の技術伝授を行いサポートしては。→収入増、農家数の増につながる。

## 1 7 観光宣伝・農産物販売促進

沖洲会との連携による物産や観光宣伝が足りていないのでは。もっと外に出て、島の観光や農作物の宣伝・販路開拓をすべきでは。→観光産業従事者や農家の収入増。

### 【昨年協議事項：未来】

#### 1 買い物サポート

高齢者・障がい者などに対するサポート。主食類などの配達サービスが提供できないか。→生活の自立が期待できる。

#### 2 みんなの学校

学校を中心に子どもの成長を見守れるよう、行政で支援する仕組みづくりができないか。困りごとのある子やない子も同じように。→どんな子どもでも一緒に成長できる。

#### 3 定住・住宅対策（従来型と重複）

仕事や住宅が充実し、居住者が増え、活気あるまちづくりを。子育てボランティアの組織づくり、公営住宅のリフォームや入居条件の緩和、空き施設の利用促進など。→居住促進につながる。

～質疑応答～

**石田アドバイザー：** コロナ禍の中で地方の役割、都市の役割というのがかなり明確になってきた。それを理解した上で、どんな施策をやらなければいけないか、ということにもなる。20個のテーマについて異論はないが、もう一步進んで、コロナのパンデミックで明確になった「地方の役割」について、どこかで議論するチャンスはないか？

**会長：** 本日テーマを選んだ段階で、それぞれのテーマについて、コロナ後の社会の在り方とどう関わるのが見えてくるかと思う。3つのテーマを選んでから、どう変わっていくかを踏まえて議論しては。

#### ～3つのテーマ選択～

**会長：** 項目的に内容が重なるテーマがあるのではないかと質問があったが、目的が少し異なるものもあるため、いったん皆さまに3つずつ出していただきたい。その上で、選ばれた3つに重複するテーマが2つ入る場合は、それらを集約して次の協議のときに課題となる部分を含めて話し合い、4番目に選ばれたテーマをもう一つの施策提案としたい。

**委員：** 8番、11番、15番。

**委員：** 8番、9番、12番。

**委員：** 9番、17番、未来型1番。

**委員：** 2番、13番、15番。 15番の「高反収作物の導入」については、夏の野菜不足の

時期に水耕栽培を導入すれば、島の自給自足に役立つのではと思った。13番の「高齢者見守りサポート」については、上平川で事件があったのでご存知かもしれないが、「老老介護」という現実がある。包括支援センターや民生委員という機能はあるが、すべての町民が心配なく暮らせる状態にはない。昔は騎馬戦型社会と言って3人くらいで一人を支えていたが、今は肩車型社会。一人で一人を支えなければならない。「施設を利用すればいいのでは」という意見もあるが、そのお金がない家庭もある。役場でもしっかりとヒアリングをして、このような事件が二度と起こらないようにして欲しい。

**委員：** 8番、未来型2番、未来型3番。

**委員：** 17項目の中にいくつか集約できるものがあるのでは。例えば、7番に10・15・16番などの農業に関する項目を含めると、もっと大きな議論ができるのでは。また3番と4番についても同様。これだけ少子化が進み、100年の歴史を持つ学校に新入生が一人もいないという時代に入った。この状況で今の小中7校体制でいいのか、など議論できると思う。8番のごみ資源化も、いかにごみ処理費用が両町の財政負担になっているのかを考慮すると、資源化はもちろん、分別にもっと問題があるのではないかと。町税に近いくらいの金額をごみ処理費用に充てていることを多くの町民は知らないのではないかと。そういったことをすべて含めて17項目をもっと集約して議論したいが……

6番、8番、11番。おまけ13番。子育てと介護は同等。

**委員：** おおよそ「農業」「環境」「子育て」「高齢者」に分けられると思うのだが、17項目



あると選ぶのが難しい。敢えて3つ選ぶとすると、8番、11番、15番。

**委員：** 6番、8番、9番。

**委員：** 重なるテーマがあるので選びにくかった。私も、子育てと介護は同等に重要視している。1番（人材不足があるので）、8番（6番も含まれないか）、11番。

**委員：** 13番。民生委員を務める中で、一人暮らしの高齢者で軽い認知症が出ている方の見守りがすごく難しいと感じる。ずっと傍にはいられないし、家族もなかなか見に来られない方をどうやって見守っていけばいいのか。実際に自分自身が困っていること。

未来型 2番。大阪にドキュメンタリー映画にもなった「みんなの学校」という公立の学校がある。スクールソーシャルワーカーもしているが、今年初めて、知名中と関係する字の民生委員の情報交換会をした。その中で、もっと学校に来て教室を見てください、と言っていた。子どもは地域の宝でもあるし、みんなで見守っていけるといい。保護者の負担も減る。保護者、学校、地域、それぞれの役割で将来の子どもたちを見守っていききたい。

未来型 3番。学校によって、複式学級の学校、もう少しで2クラスになる学校などバラツキがある。空き家対策をして住める場所が増えれば、そうしたバラツキも減るのでは。

**委員：** 私も集約したいものがあるが…。11番、島を出てUターンしても十分に子育てができる環境づくり。16番、百姓をするなら機械が必要。新規就農に関してはそうした補助があってもいいのでは。そして13番。

**委員：** 6番。13番、民生委員をしているので高齢者の見守りは非常に大事。15番、これ

から野菜が不足する季節に入るので何か対策が必要。

**委員：** 5番、13番、15番。両親が高齢で将来的に認知症の心配もあるので支援があると嬉しい。農業をしているので高反収の作物があれば作りたい。

**委員：** 2番、8番、11番。特に子育て支援においては、自閉症スペクトラム障害の子どもたちがえらぶに何名いるのか、その子たちが生きやすい環境があるのか、把握して助けてあげたい。

**委員：** 2番、高齢化社会の中で生きがいを提供する場があれば。6番、ごみが少ないきれいな島に。10番、経済の基盤は農業なので研究制度を導入して何らかの動きが取れば。

**委員：** 「環境」「教育」「生活介護」「農業」プラスαで「観光」にグルーピングした中から選んだ。8番（環境）、13番（生活介護）、11番（教育）。

**委員：** 8番、11番、9番。9番と未来型3番は重なる。問題点の洗い出しや改善策、それに伴って出て来る効果はそれぞれ相互作用する点があるので、複合的な議論が可能であり必要なのではないかと思う。合わせて議論することを提案したい。

**委員：** 6番、15番、未来型2番。

**委員：** 1番。保育士として働いているが、現場は本当に保育士不足。42人クラスを職員5人で見ているが、個別対応が必要な子どもが多いので手が足りない。職員が休みになった時は回らなくなってしまう。

それに関連して(?) 12番。日々子どもたちを見ていると、個々に成長の速度がさまざま

で、目に見えない虐待(身体的虐待も?)が疑われる子どももいる。真剣に考えていきたい。

未来型 3 番。移住するにあたって家探しが大変だった。島外からの I ターン者にはなかなか貸してもらえなかった。農地も同じ。移住支援も課題だと感じる。

3 番。移住者目線で見たと時に、島にはいいものがたくさんあるのに「もったいない」と感じることも多い。子どもたちにもっと島の良さに気づいて欲しい。例えば自然学校を開催し、ボートやダイビング等のアクティビティで海を知ったり、知識を持った方から学ぶ機会をつくる等。

**委員：** 1 番、9 番、15 番。

**委員：** 8 番。ごみの分別作業を手伝うことがあるが、細かく分別されていないケースも多い。町の税金が充てられているので、意識改革を行えば改善していくのではないかと。

9 番。空き家を紹介する活動をしていたが、島外の方から「帰って来たいが住む場所がない」という意見をもらっていた。環境を先につくれば、もっと帰って来やすくなり人材雇用にもつながっていくのでは。

10 番。新規就農者が毎年 5 人くらいいるが、補助制度はあるが技術を高めるための制度がない。それが上がれば付随して 15、16 番も解決されていくのでは。

**委員：** 8 番、9 番、未来型 2 番。空き家があるとイメージが悪いのもあるし、台風時の二次災害などが心配になる。みんなの学校については、仕事で発達障害がある子どもを見ることがあるが、みんなの中に入って学習できる環境をつくることのできるとういと感じる。そ

ここに従来型 3 番の学びのポータル化を合わせてやっていると楽しくなるのでは。ごみについては、小さな島なので余計に意識する必要がある。海をきれいにするにもつながる。

～結果発表～

**事務局：** 8 番…ごみの資源化等（12 票）、11 番…子育て支援（8 票）、9 番…空き家等対策事業（7 票）、同数で 15 番…高反収作物の導入（7 票）

**会長：** 同票の扱いについてみなさんにお伺いしたい。分野が異なることから、4 つについて施策提案の協議をしていきたいが、いかがか。

**委員：** 賛成。

**会長：** 4 つに選ばれなかったテーマと重複する部分があるテーマもあるので、4 グループに分かれて協議する中で、主旨から外れなければぜひ提案の中に入れていただきたい。選ばれたテーマにも少し漠然とした部分があるかと思うので、施策提案とするためにしっかりと明確にして欲しい。今後はそれぞれの担当課から役場職員を派遣してもらい、グループに参加して協議する。みなさんの知らない町の事業もあるかもしれない。ぜひ職員も交えて、良い施策提案となるよう協議していただきたい。

～諮問型について～ 資料 3・3 ページ目

**事務局：** 昨年、新庁舎の基本計画を作成した後、3 回ほど新庁舎基本設計のプロポーザル

を実施した。8月19日(日)、あしびの郷にて、審査内容の公開プレゼンテーションを実施したが、当日パワーポイントで示した庁舎のイラストや配置図をそのまま採用するわけではない。より広く優秀なアイデアを求め、プロジェクトの特性や地域性を理解した設計者を選定するためのプレゼンテーションだったという旨をご理解いただきたい。

ちなみに、12社の参加表明をいただき、一次審査を経て2社を選定。第二次審査では5社から最優秀を株式会社衛藤中山設計、優秀(次点)を株式会社ミノダ設計とした。

そのことを踏まえ、～資料3・3ページ目説明～

**会長：** これまでは基本計画ということで、具体的に形が見えないところがあった。今後はヒアリングを経ての基本設計。建物の形についても皆さまの案を取り入れられるところは取り入れていく。設計上どうしてもできないところはその説明を受けながら、建物の形が見えてくるはず。そのためにも皆さまにご協力いただき、基本計画に対する提言をこの場でいただきたい。設計会社との協議も必要なので、協議を終えて形が見えた段階で報告させていただきます。

## 5) その他質問事項

**委員：** 町の10か年計画(総合振興計画)を、町民会議のメンバーに配布して欲しい。広く配布できるダイジェスト版があるといい。

**会長：** 今回は7年の総合振興計画だが、石田アドバイザーからも同様の提案があった。

**企画振興課長：** 総合振興計画そのものがダイジェスト版のようなもの。詳細はテーマに沿って各課事業を計画している。それに沿って振り返りもできるようなシステムにしていく。

総合振興計画は各委員に1冊ずつ配布可能。